

平成 24 年 3 月
飯田市（長野県）

I. 平成 23 年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間；平成 20 年 7 月～平成 25 年 3 月（4 年 9 ヶ月）

1. 概況

平成 23 年度においては、認定基本計画に掲載している全 54 事業のうちの 5 割強にあたる 30 事業について実施又は計画策定に着手した。特にりんご並木をフィールドとした「りんご並木周辺商業施設等整備事業」、「りんご並木にぎわいづくり事業」では、新たな客層を呼び込むことで中心市街地の賑わいを創出した。

銀座3丁目の歩行者通行量の増加については、銀座商店街を構成する個店の経営努力に加えて、平成 20 年度から 22 年度にかけて段階的に実施してきた「まちなか健康福祉拠点整備事業」による健康関連サービスの開始、保健・医療・福祉・介護予防マネジメント等を総合的に行う拠点の整備等に伴うものと考えられる。すでに当初の目標を達成したが、各施設の複合的な展開により、利用者のさらなる増加を見込む。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
人々の交流によるにぎわいの回復	歩行者・自転車通行量	7,000 人 (H19 年)	9,000 人	8,390 人	①	④
環境に配慮し安心安全な暮らしの実現	都福利施設利用者数	77,000 人 (H18 年)	93,000 人	118,277 人	①	①

注) ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

①「歩行者・自転車通行量」について

・りんご並木ストリート・マネジメント計画に基づき「りんご並木周辺商業施設等整備事業」「りんご並木にぎわいづくり事業」等、継続的な取り組みを進めているが、新たな商業施設整備への計画着手と、りんご並木周辺施設を活用したソフト事業の展開を軸に目標達成に繋げていく。

②「都市福利施設の利用者数」について

・平成 20 年度から健康関連サービス提供が開始され、さらに平成 22 年度から福祉関連サービスが開始されたことによって、計画を上回る利用者の推移となっている。今後も各施設の複合的な展開により、さらなる利用者の増加を実現し、目標達成は可能であると見込まれる。

4. 前回フォローアップ結果と見通しが変わった場合の理由

①「歩行者・自転車通行量」について

・平成 22 年度中実施のりんご並木周辺施設整備事業による通行量増加を見込んでいたが、

新たな客層の獲得はあったものの全体通行量がほぼ横ばいの推移となり、新たな商業施設整備の地元調整に遅れが生じたため。

5. 今後の対策

①「歩行者・自転車通行量」について

・「りんご並木周辺商業施設等整備事業」において新たな計画に着手するとともに、これまでに整備されている商業施設、扇町公園等の回遊性をさらに促進すべく、創意工夫に富んだソフト事業を展開する。

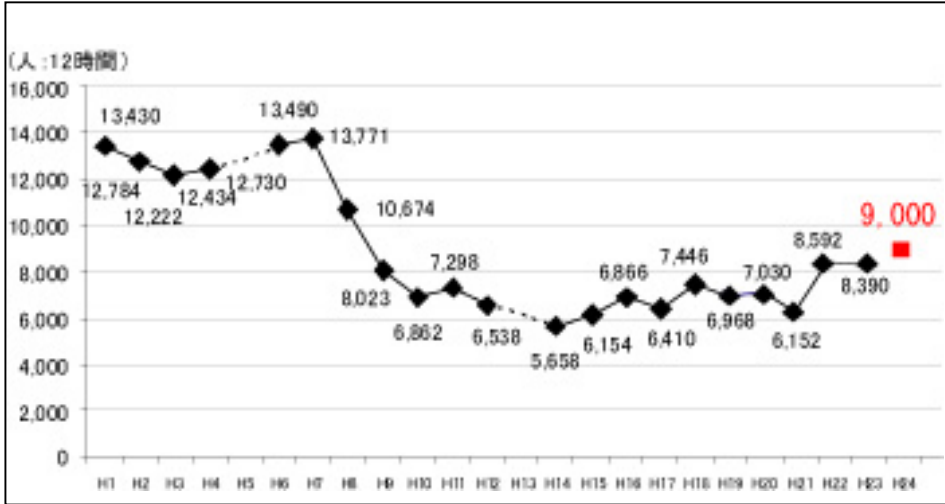
②「都市福利施設の利用者数」について

・銀座堀端ビルにおけるまちなか健康福祉拠点整備事業、健康関連サービス提供における着実な利用者の増加から目標達成は可能であるが、さらなる利用者増加実現のため、子どもサロンや飯田市公民館を活用した多様な主体によるコミュニティ講座、生涯学習関連事業等、計画的な事業実施に努めていく。

II. 目標毎のフォローアップ結果「歩行者・自転車通行量」

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画P47～P54 参照

1. 調査結果の推移



年	(位:人)
H19	7,000 (基準年値)
H20	7,030
H21	6,152
H22	8,592
H23	8,390
H24	9,000 (目標値)

※調査方法；計画地点での調査員による通行量調査

※調査月；10月

※調査主体；飯田市

※調査対象；歩行者及び自転車 土曜日4地点（駅前中央通り、りんご並木、知久町1丁目、銀座3丁目）

各地点における歩行者通行量（1日当り：12時間・自転車含む 単位：人）

	平成14年	平成15年	平成16年	平17年	平18年	平19年	平20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
駅前中央通り	3,034	2,712	3,186	2,712	3,118	3,300	3,196	2,302	3,704	3,556	
りんご並木	776	968	1,090	1,35	870	952	1,380	1,438	1,508	1,352	
知久町1丁目	838	1,280	1,548	1,448	1,512	1,016	774	700	802	600	
銀座3丁目	1,010	1,194	1,042	896	1,946	1,700	1,680	1,712	2,578	2,882	
合計	5,658	6,154	6,866	6,410	7,446	6,968	7,030	6,152	8,592	8,390	

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 商工会館改築事業（飯田商工会議所）

事業完了時期	【実施中】平成22年度から平成23年度
事業概要	商工会館を改築し、商業・一般公衆利便施設、バスターミナル、商工会議所、駐車場等の複合拠点として整備する。
事業効果又は進捗状況	平成20年度から整備に向けた検討及び関係者との協議を開始。関係者間の協議に時間を要したため、平成23年度に実施計画策定（計画上は平成22年度。）に着手し、平成25年度に事業が完了する予定である。（計画上見込んでいる効果:120人/日）

② 駅周辺及び駅前ストリート整備事業（飯田市、飯田観光協会、JR 東海）

事業完了時期	【実施中】平成20年度から平成24年度
事業概要	交通の結節点である飯田駅における都市サービス機能の充実を図るた

	め、駅周辺及び駅前ストリートの観光情報案内所、店舗等誘客施設、駐車場、駐場、トイレ等を総合的に整備する事業
事業効又進捗状況	駅前観光情報案内所については、20年度から整備に向けた検討及び関係者との協議を開始し、21年度までに合意が得られ、観光ハイサービスの拠点として、また、商店街等の情報発信の拠点として駅舎内に観光情報案内所を計画。スケジュール通り平成21年度に事業に着手し22年度初旬に竣工した。また22年度下旬には情報案内板の整備も実施。スケジュール通り平成24年度中にすべての整備を終える予定。(計画上見込んでいる効果:165人/日)

③ りんご並木周辺商業施設等整備事業（株式会社飯田まちづくりカンパニー）

事業完了時期	【実施中】平成20年度から平成24年度
事業概要	りんご並木ストリートマネジメント計画に基づき、不動産の所有と利用の分離による活性化を図るために、りんご並木周辺の空き店舗等を、中心市街地に投資意欲を持つ民間事業者とマッチングさせることで有効活用を図る。
事業効又は進捗状況	平成20年度にはスケジュール通り3店舗がオープンし、市民からりんご並木の新たなスポットとして認知が得られ、中心市街地に新たな客層を獲得し始め、平成22年度には、意欲ある民間事業者により、りんご並木に新たな店舗・サービスを4店舗整備。平成24年度以降あらたな整備計画に着手し、計画上見込んでいる歩行者・自転車通行量の増加(1,440人/日)を達成するよう、ソフト事業を含めた事業展開を行う。(計画上見込んでいる店舗数:10店舗)

④ 人形劇のまちづくり推進事業（NPO いいだ応援ネットイデア）

事業完了時期	【実施中】平成20年度から平成24年度
事業概要	人形劇をテーマとした操れる人形等の商品開発、観光ツアー開発、イベントの実施等官民一体のまちづくりの推進
事業効果又は進捗状況	平成20年度以降毎年、人形劇に関連したイベント「フィギュア・マーケット」を開催。30余のブースが出展し、10以上の団体が連携し取り組む祭に成長した。また、フィギュア・クイズ・ラリーなど創意工夫に富んだ企画も実施し、3万人に及ぶ集客が得られた。24年度についても新たな企画を加えつつ、さらなる集客アップを図っていく。(④～⑦で計画上見込んでいる回遊促進効果:300人/日)

⑤ まちなか観光活性化事業（飯田観光協会）

事業完了時期	【実施中】平成20年度から平成24年度
事業概要	現存する中心市街地の観光資源を十分に活かしつつ、商業者による観光資源開発、街角観光案内拠点整備、宿泊拠点での観光案内や人形劇場やコンベンション施設整備等による観光産業の活性化事業
事業効果又は	観光ボランティアガイドによる観光施設案内を実施している(参加者数

進状況	実績平成 23 年4月～11 月で約 6,000 人)。23 年度からは市民団体が主体的に観光資源の洗い出しを行い、マップ製作に着手。24 年度中に完成を予定しており、観光案内施設や宿泊施設等での活用を行う。(④～⑦で計画上見込んでいる回遊促進効果:300 人/日(再掲))
-----	---

⑥ 観光資源開発とネットワーク事業 (飯田市)

事業完了時期	【実施中】平成 21 年度から平成 24 年度
事業概要	まちなかに点在する施設や資産を観光資源として開発・整備するとともに、南信州観光公社と一体となった商品企画開発をはじめ語り部の育成やツアー企画、食事ガイドマップ等のマップ、ホームページ作成等による情報発信、まちなか探索、スタンプラリー、ウォーキング等、更には、レンタサイクル・馬車・ベロタクシー等の移動手段の確立等について、一体的なネットワーク化を図る。
事業効果又は進捗状況	イベントや食事ガイドなどの中心市街地情報をホームページを活用し「まちなか観光情報」として情報発信を行った。 平成 21 年度以降は、レンタサイクル事業を実施。飯田市美術博物館、まちなかインフォメーションセンターなど中心市街地の 10か所の公共施設と 7か所の宿泊施設に約60 台を設置した。点在する観光資源のネットワーク化を図るツールとして自転車は有効と考えられる。(④～⑦で計画上見込んでいる回遊促進効果:300 人/日(再掲))

⑦ りんご並木賑わいづくり事業 (飯田市、株式会社飯田まちづくりカンパニー)

事業完了時期	【実施中】平成 21 年度から
事業概要	りんご並木周辺における文化的イベントや農産物直売市等の商業的イベントを実施するとともに、魅力資源発掘、マップ作成や情報発信等を推進する。
事業効果又は進捗状況	平成 23 年度についても、4 月から 11 月まで毎月1回りんご並木歩行者天国を実施し、桜・そばまつり、ゆるキャライベントや獅子舞フェスティバル、りんご並木収穫祭などを実施。その際、農産物直売なども組み入れ複合的な取り組みとした。各回数千人ほどの集客は得られているが、さらに創意工夫を重ね回遊効果につなげる。(④～⑦で計画上見込んでいる回遊促進効果:300 人/日(再掲))

⑧ まちなか健康福祉拠点整備事業 (飯田市)

事業完了時期	【済】平成 21 年度
事業概要	健康の駅構想とともに、市民の健康寿命延伸のため、地域に居住する高齢者の生活支援施策、地域住民の健康支援事業、地域住民の健康・福祉データバンク機能、子育て支援のための活動拠点整備事業
事業効果又は進捗状況	平成 19 年 11 月に健康関連サービスが開始、平成 21 年度には、保健・医療・福祉・介護予防マネジメント等を総合的に行う拠点の整備が完了、平成 22 年度から福祉関連サービスを開始した。年間利用者の増加

	とともに、それまで減少傾向にあった、同拠点近くの銀座3丁目における歩行者・自転車通行量が増加した。 (計画上見込んでいる効果:50人/日)
--	--

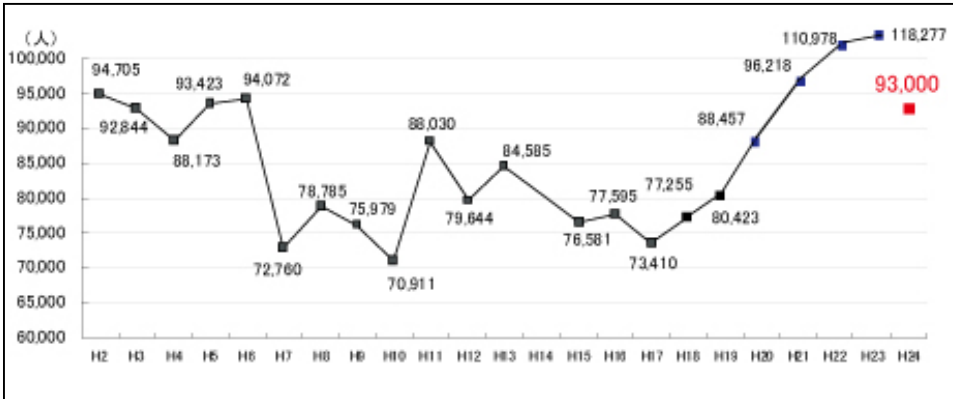
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 指標1「歩行者・自転車通行量」は、基準値(平成19年の基準値)を1,390人上回る結果となっているが、昨年比ではほぼ横ばいである。
- ・ りんご並木周辺商業施設等整備事業について、計画上見込んでる歩行者・自転車通行量の増加(1,440人/日)を達成するよう、新たな商業施設整備へ着手する。
- ・ りんご並木及び銀座3丁目における、歩行者・自転車通行量の増加は、りんご並木賑わいづくり事業、まちなか健康福祉拠点整備事業における健康関連サービスの開始によるものと考えられるが、これまでに整備されている商業施設、扇町公園等との回遊性をさらに促進すべく、創意工夫に富んだソフト事業を展開する。
- ・ 人形劇のまちづくり推進事業では、イベント時の賑わいを平常時への賑わいへとどう繋げていくかが課題である。一定期間に亘って開催する関連企画を盛り込むなど、さらに創意工夫のある取組を実施する。
- ・ 検討に時間を要している商工会館改築事業については、財源確保に時間を要しているものの、事業実施により効果(計画上見込んでいる効果:120人/日)が発現するよう、さらなる関係者間の調整を進めていく。
- ・ まちなか観光推進事業と観光資源開発とネットワーク化事業については、レンタサイクルなど積極的な取り組みを行っているものの、現段階では、利用はほぼ地元住民に限られる等、観光客の回遊増加につながっているとは言い難いが、今後マップ製作・設置などにより回遊を促す取組を行う。

II. 目標毎のフォローアップ結果「都市福利施設の利用者数」

「都市福利施設の利用者数」※目標設定の考え方基本計画P47～P58 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位: 人)
H18	77,000 (基準年値)
H19	80,423
H20	88,457
H21	96,218
H22	110,978
H23	118,277
H24	93,000 (目標値)

※調査方法；各施設管理者からの聞き取り

※調査月；平成 24 年 3 月末時点調査、4 月取りまとめ

※調査主体；飯田市

※調査対象；飯田市公民館、りんご庁舎、おしゃべりサラダ、まちなか健康福祉拠点（堀端ビル）

都市福利施設における利用者数の推移（単位：人）

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
公民館	77,350	39,113	56,778	58,926	54,323	55,997	54,256	49,344	56,202	63,716	63,785	
りんご庁舎	7,235	13,459	17,854	16,984	17,862	20,179	20,757	24,990	21,395	19,788	21,794	
おしゃべり サラダ			1,949	1,685	1,225	1,079	1,574	2,205	2,011	4,053	3,416	
健康関連 サービス							3,836	11,918	16,610	23,421	29,282	
合計				77,595	73,410	77,255	80,423	88,457	96,218	110,978	118,277	

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① まちなか健康福祉拠点整備事業（飯田市）

事業完了時期	【済】平成 21 年度
事業概要	健康の駅構想とともに、市民の健康寿命延伸のため、地域に居住する高齢者の生活支援施策、地域住民の健康支援事業、地域住民の健康・福祉データバンク機能、子育て支援のための活動拠点整備事業
事業効果又は進捗状況	19 年 11 月に健康関連サービスが開始、21 年度には、保健・医療・福祉・介護予防マネジメント等を総合的に行う拠点の整備が完了、22 年度から福祉関連サービスを開始した。年間利用者は着実に増加している。(計画上見込んでいる効果:18,000 人/年)

② 子育て・子どもサロン等の拠点整備事業（飯田市）

事業完了時期	【未】平成 20 年度から平成 24 年度
事業概要	子育て支援の中核をなす拠点センターの設置計画及び整備推進
事業効果又は進捗状況	先行しているおしゃべりサラダの活動運営に対し、活動場所の貸出や運営補助などの側面的な支援を行っている。おしゃべりサラダの活動

の分析や市民ニーズの把握する中で、平成 24 年度事業着手を目指し、都市機能としての子育てサロンのあり方等について官民協働により検討しているところである。(計画上見込んでいる効果:1,000 人/年)

③ コミュニティ形成・公共施設機能強化事業（飯田市）

事業完了時期	【実施中】平成 20 年度から平成 24 年度
事業概要	地域の福祉、文化、コミュニティの再構築に向けた取組み等を行える空間として、図書館で読書を通して個の力を高め、公民館及びりんご庁舎で人々が集い協働で暮らし(広い意味での福祉)の課題を学ぶコミュニティ講座等を実施し、市民の文化的な満足を高めることにより、公共施設の機能的、施設的な強化を図る
事業効果又は進捗状況	従来から行なわれていた、図書館、公民館での各種コミュニティ講座に加え、平成 23 年度は、りんご庁舎等を活用して、橋南まちづくり委員会による文化講座やまちづくりNPOなどによるコミュニティ講座が 20 回程度開催され(合計参加人数:延べ 1,000 人)、都市福利施設の利用者数の増加に寄与したものと考えられる。(計画上見込んでる効果:360 人/年)

④ 生涯学習センター設置・運営事業（飯田市）

事業完了時期	【未】平成 21 年度から平成 24 年度
事業概要	公民館への「生涯学習センター」の設置・運営事業
事業効果又は進捗状況	現在、教育振興基本計画に基づき、公民館の生涯学習センター機能について検討を行っている。(計画上見込んでいる効果:240 人/年)

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- 銀座堀端ビルにおけるまちなか健康福祉拠点整備事業・健康関連サービスの提供が平成 20 年から段階的に開始され、平成 21 年度には銀座堀端ビルにおける保健・医療・福祉・介護予防マネジメント等を総合的に行う拠点の整備が完了し、保険・医療・福祉・介護関連の包括的サービスの開始により、すでに当初の目標を達成したが、各施設の複合的な展開により、利用者のさらなる増加を見込む。
- りんご庁舎で実績のあった、夕方から夜間の高校生の利用を公民館に拡大したため、利用者が徐々に増加している。公民館及びりんご庁舎における講座等による会議室利用などが定着し、目標を超える利用者の伸びが見られた。
- また、子育て・子どもサロンや飯田市公民館を活用した多様な主体によるコミュニティ講座・生涯学習関連事業等、計画的な事業実施に努めていく。